

<p><タイプ1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手塚治虫の「なるべく人のマネをしないうちに、できるだけ自分のものをつくるように努めてきたんだ。」という言葉に感銘を受けた。 ・他の漫画家も気になりました。 ・自分は、仕事量が少なければ質が上がると思い込んでいたが、仕事量が多いことで「経験」「知識」が増えるということ学んだ。多くの事にチャレンジすることが大切だ。自分はモデルとして「イチロー」を考えてます。 ・手塚治虫さんについて調べてみようと思った。 ・多くの作品を残している人たちの良い所を見習っていききたい。 ・圧倒的な仕事量と行動力がすごいと思った。 ・一つのことに集中することが大事だと感じた。 	<p><タイプ4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事量が多い人は、世の人に影響を与えることができるのは、間違いないと思う。 	<p><タイプ7></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手塚治虫の有名なキャラクターの元が知り合いであったり、妹の作品であったりと、いろいろ驚いた部分があった。アニメのテーマが原発であったり、環境問題であったりと現在での問題を取り上げていたことに驚いた。 ・バーナード・ショーの「歳をとったから遊ばなくなるのではない。遊ばなくなるから歳をとるのだ」、デール・カーネギーの「あなたは一番好きな仕事をやっているだろうか?～」の言葉に心が動いた。この2つの言葉は関連があるように思える。 ・手塚さんが描いた鉄腕アトムは戦争問題、仮面ライダーは環境問題という今まで知らなかった事が知れた授業だった。 ・自分にモットーとなる目標の言葉がない。探していきたい。 ・才能もあるが、一番大切なのは努力だと思った。 ・手塚治虫が話していた、漫画は世界の共通言語。私は野球をやっているがスポーツも世界共通のコミュニケーションの一つだと思う。 ・寺山修司さんの「つまらない書物というのはないが、つまらない読書というのはある」の言葉が一番心に残った。知識がある状態で読むのとない状態で読むのとは違った世界が見えるのは、共感した。 ・生きるという事は、たいへんな事だ。少しでも動くと、血が噴き出す。と言う言葉は太宰治の心情に溢れていて小説を読みたくなった。 ・「人生とは今日1日の事である。」(デール・カーネギー)の言葉が印象に残った。 ・一つのことをしていると、もう2、3の楽しいことを見つけると言う言葉がなかなか心に響いた。 ・手塚治虫は「漫画以外の教養や知識が最後にものを言う」と言っており、まずは人間としての基礎知識が必要なのだと、感じた。 ・赤塚不二夫さんの「人生はギャグ」人を笑わせる事に本気になることは、重要だと思った。
<p><タイプ2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つやり続けると、一つだけじゃなくなることは良く分かる。ゲームが好きでずっとやり続けたら歴史が気になり、漫画が好きで読んでいたらいつのまにか色々なものに興味を持った。 ・努力だけではなく、自分の好きなモノも続けて行くことが良いと思った。 ・作品はたくさん知っていたが、漫画家本人は初めて見て、どんな人生だったかも初めて知った。 ・誰かの人生などを良い方向に影響を与えられるような人に私もなりたい。 ・人に影響を与えられるようになるには、自分を貫くことが大切だと、今日の講義で感じた。 ・これと思える何かを磨いていきたいと思った。 	<p><タイプ5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の講義で手塚治虫を改めて尊敬することができた。 ・私は自分らしく生きていきたいので、偉人の形にははまらず生きていきたい。偉人の話、言葉は参考程度に。 ・世の中を変える人がいてこそ、我らを楽しませてくれるのだと思った。 ・手塚治虫の「マンガにはマンガの役割があります。それは世の中の道徳とか観念をひっくり返すことです。」という言葉は深いと思った。漫画にはそれぞれメッセージがあるので、そこを見落とさぬように読みたい。 ・赤塚さんのコミックを読みたい。 	
<p><タイプ3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手塚治虫の漫画はブラックジャックが面白い。釣りキチ三平を書いた人をもっと紹介して欲しかった。 ・赤塚不二夫の漫画は、ほぼ全年齢共通して面白いと思う。 ・「才能の上に努力」「努力の末の才能」成功はどちらかのパターンしかないのであろう。 ・赤塚さんとバカボンのパパの外見が似ていてビックリした。 ・人生の中で、いろいろな所で学ぶことができることを知った。 	<p><タイプ6></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画は素晴らしい文化だと感じた。 ・手塚治虫は凄い。この人がいなければ漫画の世界はないと言われているのは、とても驚いた。 ・日本漫画界を切り拓いたという手塚治虫は本当に天才だと思った。 ・人を批判ばかりしては自分も成長しない。良いと思った点は盗んでいこうと思う。 ・仕事に熱心に取り組めるような人になってみたいと思った。取り上げる人はイチローか松井にしたい。 ・努力を怠っている偉人はいない。 ・手塚治虫は医者をしていたのかと知り驚いた。米沢嘉博は、コミケというルーツを作った人と知り、この人たちがいることで漫画がアニメになり、今日本の強みになるアニメができたのだと思った。 	

<タイプ8>

- ・自分のモデルとする人は藤沢周平さんです。
- ・手塚さん、赤塚さん、石ノ森さんたちの作品は今もTVで放送されている。現代まで残るものを作ることは、とてもすごいことだと思う。
- ・前回アンケートの「なぜ左翼の言葉を紹介するのか？」という問いと答えがとても良かった。立志論という言葉があう授業だと思い選択し、良かったと思った。手塚治虫の「マンガは世界の共通言語ともいえるのです」という言葉は、その通りだと思い、現在の漫画業界があるのだと感じた。
- ・仮面ライダーは環境問題、アトムは原発を現しているアニメだとは知らなかった。人に影響を与えられる人が一番すごいと思った。
- ・ソフトバンクは日時決済だということには、確かにそうすれば量をこなすことで質が上がる。そのやり方は勉強にも同じことが言えると関心を得た。
- ・神様を目標としても成れないので、もう少し現実的な作家さんを選んで欲しい。

<タイプ9>

- ・女性が魅力を感じる男性とは「仕事をさせられている男性ではなく、仕事をしている男性である」という名言には、深く考えさせられた。
- ・久恒先生は誰の名言がとても好きですか？
- ・バーナード・ショーの言葉が印象に残った。チャンスに出会わない人間はいない。それをつかまえただけ。という言葉も印象に残った。
- ・手塚さんの漫画を読みたいと思った。
- ・ブラックジャック、ブッダ・火の鳥は、時間を忘れるくらい読んでいた。今回、手塚治虫がどのような人だったか知ることができて良かった。
- ・漫画から人へと影響されていくのがすごいと思った。
- ・自分も人に影響を与える人になりたい。
- ・コミケはコミックマーケットです！

<タイプ？>

- ・寺山修司さんの言葉は、私の心をととても動かしたと思う。「言葉の錬金術師」と呼ばれるだけの言葉の力を感じた。
- ・一人の人間が与える影響が今の日本のCool Japanと呼ばれるくらい影響を与える事ができるのはすごいと感じた。豊田佐吉さんの「障子を開けてみよ。外は広いぞ。」という言葉に興味を持った。
- ・石ノ森章太郎さんの「才能の8割は体力である。間違いない。」何も行動しなければ何も起きない。ということを読み取った。
- ・手塚治虫さん、赤塚不二夫さんの映像を観て日本の漫画界に革命をおこした人だと実感した。コミケの創始者というのは知らなかった。感謝の気持ちがあふれた。
- ・手塚治虫の「一生に一度でもいい、どんなに苦労したって漫画、映画を作って子供たちに伝えてやる」という言葉に手塚さんの志は素晴らしいと感じた。
- ・石ノ森章太郎は漫画家であると同時に作家、脚本家であると思う。
- ・漫画家の話を聞いて、怒涛の仕事量といった続ける事の重要さを知った。記念館に行ってみよう。
- ・赤塚不二夫さんは天才だったわけではなく、ものすごく努力をしたことを聞いて、努力をすれば報われるのだなと思った。
- ・人の大きさは影響力である。図解も一つの表現法だと感じた。
- ・コミケの主催者が米沢嘉博さんだとは知らなかった。

- ・手塚治虫が医者だったと聞き、驚いた。
- ・手塚治虫のブラックジャックを読んだことがあるが、今度は火の鳥を読んでみたい。石ノ森章太郎は万能の天才・ダ・ヴィンチに憧れたため学生時代から様々なことをしており、その経験が作品に現れている人だと思った。休み休み何かをやるのではなく、体を壊す一歩手前まで続けたいと思った。
- ・「人間は失敗してつまづき成長する」といった言葉があるように、時間をいかに有効に使うかが非常に核となるものなのではないかと考えました。
- ・仕事量を多くこなすことで質が上がると思ったが、その通りだと思った。
- ・手塚の作品や歴史に興味を持った。
- ・石巻に、石ノ森さんの建物があり、駅周辺にはキャラクターが多かった。
- ・手塚治虫は改めて偉大な人だと思った。この人の影響力の大きさは凄まじいものだと感じた。
- ・手塚治虫ならではの漫画の描き方やどんな人なのか、少し分かった気がします。